

広報



特集

「まめ」で暮らすための豆知識

熱い魂でシュート！

5月9日から10日にかけて、大江町バスケットボール協会などが主催する第12回大江「闘魂」カップが開催されました。今年の大会では県内各地の中学校のバスケットボール部のほか、岩手県、宮城県、新潟県からの参加校も加え、男女各16チームが参戦。町内外の5つの会場で熱戦を繰り広げました。

平成27年

6

No.652

「まめ」で暮らすための 豆知識



健康維持教室の様子

今や男女とも平均寿命が80歳を超え、「長寿大国」と言われる日本。一方で、年齢を重ねるとともに身体能力や認知能力の低下、脳や心臓の疾患などのリスクが高まっていくのも事実です。こうした中で、一生のうち健康で自立した生活を送ることが出来る期間、いわゆる「健康寿命」をいかに伸ばすかが大きなテーマとして注目されています。いつまでも元気で長生きするためには、どのような秘訣があるのでしょうか。町の福祉サービスとともにご紹介しましょう。

要介護状態になる原因

日本の総人口に占める65歳以上の高齢者の割合である高齢化率は、年々上昇しています。山形県の高齢化率は29・1%（平成25年10月1日現在）で、全国で6番目に高くなっています。本町における高齢化率は34・2%（平成25年10月1日現在）で県内では7番目に高く、およそ3人に1人が高齢者となっています。

この高齢化の進行は平成32年にピークを迎えると予想されており、本町の高齢化率は38・9%に達すると見込まれています。

本町の65歳以上の高齢者数は、3010人（平成26年10月1日現在）で、このうち介護が必要であると認められた方、いわゆる要介護認定を受けている方は609人となっています。要介護状態になる原因でもっとも

多いのは、脳梗塞や脳出血などの「脳血管疾患」であり、次いで「認知症」「高齢による衰弱」となっています。いずれも、加齢とともに直面する可能性が必然的に高まっていく内容のものであります。

では、こうした状況に陥るのをできるだけ避け、心身ともに健康を保ちながら長生きするためには、どのような方法があるのでしょうか。

今年3月、町では「第7期大江町老人福祉計画」、「第6期大江町介護保険事業計画」および「いきいき健康行動計画21おおよえ（第2次）」を策定しました。これらの計画にもとづいて、今年度も引き続き各種健康教室や高齢者支援、保健指導などのさまざまな事業をおこなってまいります。要介護状態にならないための予防法を探り、それを防ぐための一助となる町の介護予防事業を紹介していきます。



お達者教室

一次予防事業



ロコモティブシンドローム予防体操や認知症予防のレクリエーションなど、楽しく介護予防を学べる健康教室です。65歳以上の方ならどなたでも参加できます。

介護予防教室のいろいろ

しゃきっと元気教室

二次予防事業

足腰を丈夫にして、いつまでも元気にはつらつと暮らすための教室です。65歳以上の方にお送りしている「基本チェックリスト」で、一定以上の項目に該当した方が対象です。



生活習慣が健康のカギに

脳血管疾患は突然死をもたらす恐ろしい病気です。一命をとりとめたとしても、手足の麻痺などの深刻な後遺症によって寝たきり状態になったり、認知症を発症したりする可能性もあります。

この病気につながる主な原因は、動脈硬化や高血圧、内臓脂肪型肥満などであり、これらは生活習慣病と呼ばれています。かたよった食事や運動不足、ストレス、そして睡眠不足など日頃からの生活習慣が、ゆくゆくは突然死や寝たきり状態を招くことになるかもしれないのです。しかしこれは同時に、生活習慣を改善すれば脳血管疾患を予防できる可能性が高くなるということでもあります。そのためには食事や運動習慣、そして日常生活のリズムを見直すことが必要です。不規則な生活はストレスがたまりやすくなり、肥満や高血圧の原因にもなります。自分なりに生活上のルールを決め、規則的な生活を送り、ストレスをためない工夫をすることが大切です。

本町では「生活習慣病予防教室」を開催しています。専門医の先生が

予防法をわかりやすくお伝えするほか、軽い運動をおこなってみることで、毎日の生活の中で運動不足を解消するヒントにもなればと考えています。今年度も、「脂質異常症予防」をテーマとして開催していく予定です。

無理のない運動習慣を

年齢を重ねると、どうしても避けられなくなるのが運動機能の低下です。特に足腰、膝の痛みや疲労感、多かれ少なかれ誰もが感じるようになるものではないでしょうか。

日本整形外科学会は、空前の超高齢社会を迎える日本の未来を見据え、平成19年に「ロコモティブシンドローム（運動器症候群・通称ロコモ）」という概念を提唱しました。

ロコモとは、筋肉、骨、関節、軟骨、椎間板といった運動器官のいずれか、もしくは複数に障害が起き、歩行や日常生活になんらかの障害をきたしている状態のことを言います。ロコモが進行すると、立つ・歩くといった日常動作が困難になり、転倒・骨折しやすくなるとともに、介護が必要な状態になるリスクが高く

なります。

山形県ではロコモ予防を啓発するキャンペーンをおこなっており、本町でも健康教室などの際に、山形独自のロコモ予防体操である「花の山形！しゃんしゃん体操」をはじめ、誰でも簡単に出来るトレーニング方法をご紹介しています。ほかにもストレッチやウォーキング、各種スポーツなどを、自分の体力にあわせて無理なく継続して実践していくことが効果的です。

楽しみながら認知症予防

認知症は、脳や体の病気などによって記憶力・判断力・時間や場所を把握する能力が低下し、普段の社会生活に支障をきたすようになる状態のことを言います。認知症の原因は、脳全体が委縮する「アルツハイマー型認知症」、脳内に異常なたんぱく質がたまることで起こる「レビー小体型認知症」、そして脳梗塞や脳出血などの脳血管疾患がもたらす「脳血管性認知症」の3つのタイプが多く、これらは「三大認知症」と呼ばれています。

現在の医学では、認知症について

まだ解明されていないことが多くあり、一度発症すると完治することは難しいといわれています。しかし近年になって、効果的とされる予防策や、症状の進行を遅らせる方法があることが明らかになってきました。バランスのとれた食事、適度な運動習慣などがその一例です。

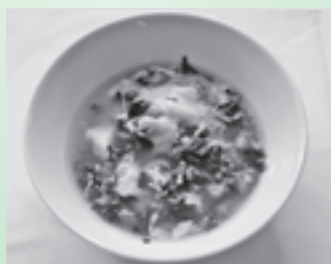
認知症を予防するポイントとしてほかに挙げられるのは、楽しく集中できる趣味を持つことです。思考力や集中力を必要とする将棋や囲碁は、その代表的なものといえます。また、料理や旅行、園芸など、手順や計画性があると同時に体を動かす趣味は、楽しみながら脳を活性化し、注意力の低下を防ぐ効果が期待できます。

そして、人と出合い、会話をすることも脳機能を鍛えるのに大いに役立ちます。同年代の人々や、同じ趣味を持つ人たちとのつながりは、それ自体が人生に活力を与えるものにもなるでしょう。家族や友人、地域の方たちとのコミュニケーションを積極的におこなうことで、脳は自然と若々しく保たれるようになります。本町では、平成18年4月より地域包括支援センターを町直営で運営し、介護予防事業などをおこなっています。介護予防事業は、一次予防事業

管理栄養士からのアドバイス

「たんぱく質をしっかりとりましょう！」

高齢になると、体に必要な栄養分が不足する低栄養になりやすく、運動機能の低下などにつながります。肉・魚・卵・大豆製品を食べて、低栄養を予防しましょう！



つるむらさきの玉子スープ

材料（2人分）

つるむらさき 適量 卵 1個
コンソメ 1個 水 300cc

作り方

- ①つるむらさきを軽く水洗いしてから1cmに切り、卵は溶いておきます。
- ②鍋に水、コンソメを入れて、ひと煮立ちさせます。
- ③つるむらさきを入れてひと煮立ちしたら、溶いた卵を入れて出来上がり。

レシピ・写真提供：さがえ西村山つるむらさき部会

「もう一品」
簡単レシピ

「地域包括支援センター」とは？

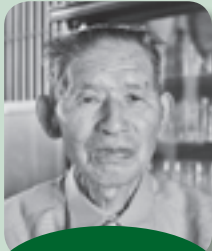
「地域包括支援センター」は、認知症予防教室などを主催するほか、介護、福祉、医療、高齢者の権利擁護など、地域で暮らす高齢者と家族の皆さんをあらゆる面から総合的にサポートする機関です。本町では町が直営で運営し、健康福祉課内に設置しています。

皆さんがいつまでも健やかに住み慣れた地域で生活しているようお手伝いします。



こんなときはご相談ください

- 介護予防について知りたい
 - 高齢者の権利を守りたい
- そのほか、さまざまなお悩みやご相談にお応えします。



大沼 健蔵 さん
(沢口)

沢口地区の月布川の川沿いにお住まいで、現在もたけのこやわらびを出荷している現役の農家である大沼さんは、今年満90歳を迎えられます。わらびのほかにも、自家用の米を作るために約15アールの水田を耕し、きのこや山ぶどうも栽培しているため、今の時期は大忙し。朝5時ごろに起床し、夜は10時には就寝するという規則的な生活を続けています。今回ご自宅にお伺いした時も、たけのこの収穫作業の真っ最中でした。

週に1回息子さんが訪ねて来る時に買い物をお願いしたり、農作業を手伝ってもらったりしているようですが、調理や洗濯、掃除など日常のことはすべてご自分でおこなっています。冬は雪下ろしが欠かせず、雪が消えれば農作業が始まり、一年を通して重労働が続きます。それでも「何十年もこうして暮らしているから、そんなに大変だとは思わない。働くのが生きがいであり楽しみ」という大沼さん。長年、自然の中で常に体を動かして生活してきた大沼さんにとって、何歳になっても元気に若々しく生きるその姿は、まさに「自然体」なのかもしれません。

「まめ」

な秘訣はなんですか？

「町内の元気な高齢者の方にうかがいました」



兼子 貞子 さん
(3区)

満93歳になられた兼子さん。一人暮らしとなった時はご家族も大変心配していたそうですが、週1回の配食サービスの利用以外は調理もご自分でおこない、現在も元気で自立した生活を送られています。寝る前に体操をしたり、食事がかたよらないように気をつけたりと、ご自身の工夫で健康管理にも気を配っています。

以前は同じ隣組の方たちと一緒に毎年旅行に出掛け、90歳になる直前まで北海道から九州、沖縄までいろんな観光地を巡り歩いたとのこと。一人暮らしになってからは、同じ地区の方たちと一緒に社会福祉協議会の「生きがい教室」に通うことが大きな楽しみとなっているそうです。老人クラブの活動や町内会の集会にも積極的に参加されています。

町の福祉サービスなどを利用しながら、いきいきと毎日を送っている兼子さん。元気の秘訣は、規則正しい生活と、地域の方とのコミュニケーション。そして「自分で出来ることは、なるべく自分でする」という気持ちが大切だと教えていただきました。

と二次予防事業とに分けられます。一次予防事業とは、元気に生活されている方を含む、65歳以上のすべての方が受けられる事業であり、保健センターで「お達者教室」を開催しているほか、出前講座などもおこなっています。軽い体操やレクリエーションを通して頭と体を使い、心もリフレッシュしながら楽しく認知症予防をすることも、お互いの交流の場としても有意義なものとなっています。老人クラブとの連携によって、これまで多くの方に参加していただいています。

いつまでも「まめ」でいるために

第7期大江町老人福祉計画と第6期大江町介護保険事業計画は、「ともに支え合い生きがいをもって暮らし」を基本理念としています。個人の生活習慣の見直しなどの努力はもちろん大切なことですが、住み慣れた地域で日常生活を送れるよう、地域社会の中でお互いに支え合い、助け合っていくことが、これからの高齢社会を明るく幸福なものにするための基盤となっていきます。

そして「生きがい」をもつことが、健やかに長生きするための何よりの秘訣です。没頭することが出来る趣味や、日常の中のささやかな楽しみを見つめることは、いきいきとした生活を送るうえでの一番の原動力であり、心の支えになると言えます。それが長年にわたって続けていけるようなものになれば、心身ともにいつまでも若々しく、「まめ」で暮らしていける源となり、やがては「生きがい」と呼べるものになっていくのではないのでしょうか。

このほかの健康教室としては、65歳以上の方が対象の「健康維持教室」があります。テルメ柏陵健康温泉館に隣接するシニアセンターで毎週開催され、健康チェック、温泉入浴、介護予防体操、食事やお茶を飲みながらの団らんなど、温泉施設でゆっ

まちの

平成26年度下半期 財政状況

町では、皆さんに町の財政がどのように運営されているかを知っていただくため、年2回（上半期、下半期）定期的に財政状況をお知らせしています。今回は、平成27年3月末現在の予算執行状況と町債（借入金）残高の状況をお知らせします。

※決算確定額ではありません。

◆一般会計の予算額

（単位：千円）

当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予算現額
4,821,300	429,600	501,942	5,752,842

※補正予算の主なものは、地域住民生活等緊急支援交付金に係る事業や衆議院議員選挙費などです。
※前年度繰越額の主なものは、健康温泉館改修事業や道路災害復旧事業などです。

◆歳入内訳

（単位：千円、％）

区 分	予算現額	収入済額	割合
町 税	766,298	762,117	99.5
町民税	322,830	316,553	98.1
固定資産税	355,147	356,385	100.3
軽自動車税	22,777	22,971	100.9
たばこ税	46,400	47,057	101.4
入湯税	470	489	104.0
都市計画税	18,674	18,662	99.9
使用料及び手数料	76,938	71,457	92.9
繰入金、繰越金、諸収入ほか	665,877	647,753	97.3
地方譲与税	57,500	57,380	99.8
地方消費税交付金	71,300	88,529	124.2
自動車取得税交付金ほか各種交付金	22,657	19,214	84.8
地方交付税	2,236,767	2,319,195	103.7
国・県支出金	1,196,005	895,678	74.9
町債（借入金）	659,500	348,200	52.8
合 計	5,752,842	5,209,523	90.6

◆歳出内訳

（単位：千円、％）

区 分	予算現額	支出済額	割合
議 会 費	90,197	89,809	99.6
総 務 費	1,007,777	918,233	91.1
民 生 費	1,094,250	1,042,405	95.3
衛 生 費	227,892	208,228	91.4
農林水産業費	381,533	293,737	77.0
商 工 費	220,242	181,013	82.2
土 木 費	883,423	614,739	69.6
消 防 費	261,429	250,945	96.0
教 育 費	561,727	443,323	78.9
公 債 費 （借入金の返済）	591,408	590,863	99.9
そ の 他	432,964	330,117	76.2
合 計	5,752,842	4,963,412	86.3

※プレミアム付き商品券発行事業補助金や道路災害復旧事業などを翌年度（平成27年度）へ繰り越しています。
※4月～5月の出納整理期間に執行される科目があるため、歳入・歳出ともに予算現額に対して低い割合となっています。
※歳入内訳の中で、町税の調定額（納めていただくべき額）に対する収入済割合は94.0％です。

◆町債（借入金）の状況

（単位：千円）

会 計 名	平成25年度末 残高	平成26年度 借入額（見込）	平成26年度 元金返済額（見込）	平成26年度末 残高（見込）
一 般 会 計	4,653,298	519,100	541,104	4,631,294
簡易水道事業特別会計	1,954		79	1,875
公共下水道事業特別会計	2,228,949	31,500	124,315	2,136,134
農業集落排水事業特別会計	294,552		18,028	276,524
水道事業会計	657,484	97,900	33,603	721,781
合 計	7,836,237	648,500	717,129	7,767,608

※平成26年度の借入額、元金返済額、年度末残高は決算見込額としています。

※平成27年3月末現在の一時借入金は150,000千円です。（4月1日に返済を完了しています。）

◆特別会計

(単位：千円、%)

会計名	予算現額	収入済額	割合	支出済額	割合
国民健康保険特別会計	948,191	850,851	89.7	823,528	86.9
後期高齢者医療特別会計	95,462	95,748	100.3	93,646	98.1
介護保険特別会計	1,047,047	1,018,296	97.3	917,600	87.6
宅地造成事業特別会計	128,987	128,988	100.0	126,749	98.3
簡易水道事業特別会計	9,300	9,561	102.8	7,718	83.0
公共下水道事業特別会計	265,200	252,620	95.3	240,936	90.9
農業集落排水事業特別会計	43,070	43,540	101.1	42,211	98.0

◆水道事業会計

(単位：千円、%)

区分	予算現額	収入(支出)済額	割合
収益的収入	261,760	269,184	102.8
資本的収入	127,499	127,452	100.0
収益的支出	261,760	254,310	97.2
資本的支出	247,105	197,791	80.0



最上川フェスタ 2015

参加者募集

「第15回最上川ゴムボート川下り大会」

◆期 日／7月12日(日)※小雨決行

◆場 所／受付6時50分～ 中山町せせらぎ公園(長崎大橋下付近)
開会式8時20分～ 町民ふれあい会館 スタート9時30分～◆内 容／タイムレース部門(全長11kmうちレース区間4.2km)
パフォーマンス部門(全長11km)

※上位入賞者には表彰状と賞品、全員に参加証と参加賞あり

◆参加資格／2人1組で小学3年生以上の泳げる人

(未成年者は保護者の同意が必要。中学生以下は大人と一緒になければ出場できません)

ゴムボート、オール、救命胴衣持参(一式500円で先着24組分の貸出あり)

参加料1組2,000円(保険料含む)

◆申し込み期限／6月26日(金)

※申込書を郵送又はFAXで大会事務局へ(申込書は役場建設水道課に準備)

・タイムレース部門 100組(一般の部、女性の部、男女混合の部、親子の部)

・パフォーマンス部門 30組で先着順締切

◆その他／飲酒禁止・持参するゴムボートは十分に事前点検をお願いします。

※お問い合わせは、大会事務局(中山町役場建設課) ☎023(662)2116 FAX 023(662)5176、
または大江町役場建設水道課管理係 ☎(62)2116 まで

■山菜づくしでおもてなし～2015全国山菜サミット in 大江～ 1



▲オープニングアトラクション・左小はやせ太鼓



▲山菜シンポジウム・パネラーのみなさん

山菜文化をテーマとした全国的イベントである「2015全国山菜サミット in 大江」が、5月24日と25日の2日間にわたって開催されました。山菜サミットは、全国で山菜振興に取り組んでいる関係者が交流する場として、そして一般の方々にも山菜文化の魅力への理解を深めていただく場として開かれ、県内では3回目の開催となります。

1日目は東地区公民館でオープニングアトラクションが披露された後、東京で中華料理店を営む、中華料理に山菜を取り入れたメニューを提供している久保木武行シェフによる記念講演、そして「山菜文化の魅力発信」をテーマとした山菜シンポジウムがおこなわれました。夜には山里交流館で全国山菜文化交流会が開かれ、多種多様な山菜料理や郷土料理が振る舞われました。町外から来られた参加者の1人は「わらびの天ぷらを初めて食べておいしかったので、ぜひ家でも作ってみたい」と話し、山菜料理を堪能していました。

2日目は山里交流館で「青苧復活夢見隊」の村上弘子代表（藤田）が講話をおこない、その後小倉交流館に場所を移して青苧餅の餅つき体験などがおこなわれました。

2日間ともに多数の方々のご参加、ご協力により大盛況のうちイベントは幕を閉じました。



▲久保木武行シェフの記念講演



▲青苧餅の餅つき体験



▲村上弘子さんの講話

平成27年第1回大江町議会臨時会が、5月13日に開かれました。

水道事業会計予算繰越計算書の報告のほか、税条例の改正についての専決処分が承認されました。

また、中央公民館改築工事と藤田地区住宅団地造成工事についての請負契約の締結が可決されました。

議会

town council

第1回臨時会



▲山菜文化交流会

輝いて
今

様々な分野で活躍され、
表彰された町民の方々
を紹介します



藍綬褒章受章
庄司 総一郎 さん (黒森)

庄司総一郎さんは、国勢調査員として昭和40年から50年間、10回の国勢調査に携わった功績により、平成27年春の褒章で藍綬褒章を受章されました。また、農林業センサスの調査員も同じく50年にわたって務められ、統計調査に多大な貢献をされました。

庄司さんが初めて国勢調査員となったのは20代のころで、黒森地区と中の畑地区を担当。調査がおこなわれるのは収穫で忙しい時期ですが、地域の方々のご協力でスムーズに調査が出来たそうです。今回の受章については「受章できるとは思っていませんでしたので嬉しいです。家族も喜んでくれてよかったです」と笑顔で語ってくださいました。

■異文化交流への旅立ち～中学生海外派遣事業 開講式～

5月11日、今年度の中学生海外派遣事業の開講式が、旧本郷西小学校でおこなわれました。この事業は、広い視野を持って外国文化を理解し、異文化との交流をとおして積極的に外国語学習に取り組み続けるきっかけとすることを目的に実施しているもので、昨年度に引き続き2回目。今年度も、アメリカ合衆国モンタナ州ミズーラ市へ12名の中学生が派遣されます。

開講式で生徒たちは「外国の文化に触れて、知らなかったことをたくさん学んで、思い出に残るような海外派遣にしたい」「自分たちの文化の良いところを広めたい」「コミュニケーション力を身につけ、日本での日常生活にも生かしたい」など、それぞれの意気込みを力強く語りました。

開講式の後には、「キックオフ・ギャザリング」がおこなわれました。「ギャザリング」とは「集会」を意味する英語で、参加者は保護者やスタッフと一緒にアメリカ文化をテーマにしたクイズに答えたり、昨年でのアメリカでの研修の様子を写真で見たりして、渡航に向けて結束を高め合いました。

参加者は現地での買い物の方法や食事のマナーなどを学ぶ事前研修をおこなったあと、7月28日にアメリカへ向けて出発し、7日間の日程でミズーラ市周辺を見学する予定です。



▲今年度参加する12名の中学生と保護者、スタッフの皆さん



▲「キックオフ・ギャザリング」の様子

■生涯学習と交流の新たな拠点に ～中央公民館改築工事安全祈願祭～

中央公民館改築工事の安全祈願祭が5月19日にとりおこなわれ、関係者が神事をおこなって工事の安全を祈りました。

新しい中央公民館は、本町の特産である西山杉をふんだんに使用し、図書館やホール、学習ルームなどを備えたもので、平成28年6月に完成予定。さまざまな生涯学習活動やあらゆる年齢層の交流の新しい拠点として、多くの町民の皆さんに利用していただける施設になることが期待されます。





5/13 逆風に負けず、ゴールを目指して

町内小学校の陸上競技大会が、5月13日に左沢小学校グラウンドでおこなわれ、左沢小学校と本郷東小学校の5・6年生130名が、トラックとフィールドの合わせて7つの競技で記録を競い合いました。

この日は強風が吹き荒れるあいにくの天気でしたが、児童たちは激しい向かい風にも負けず、日ごろの練習の成果を存分に発揮し、自己記録の更新を目指して一生懸命競技に挑みました。



《競技結果》各種目優勝者のみ

◇100メートル走

5年男子／菊地 道登（本郷東）	17秒6
5年女子／笹川 愛琉（左沢）	17秒1
6年男子／高橋 大河（左沢）	15秒9
6年女子／鈴木 紗和（本郷東）	16秒2

◇70メートルハードル

5年男子／菊地 道登（本郷東）	14秒1
5年女子／笹川 愛琉（左沢）	13秒5
6年男子／高橋 大河（左沢）	12秒6
6年女子／鈴木 紗和（本郷東）	13秒6

◇走り幅跳び

5年男子／大井 風空（左沢）	3m 22cm
5年女子／遠田萌々音（左沢）	3m 06cm
6年男子／堀 夢翼（本郷東）	3m 84cm
6年女子／青柳 七海（左沢）	3m 58cm

◇ソフトボール投げ

5年男子／菅原 要（本郷東）	35m 85cm
5年女子／公平 亜美（左沢）	27m 69cm
6年男子／高橋吏希斗（左沢）	41m 89cm
6年女子／菊地 七海（左沢）	24m 41cm

◇1000メートル走

5年男子／菊地 道登（本郷東）	3分40秒67
6年男子／伊藤 凜旺（左沢）	3分58秒62

◇800メートル走

5年女子／公平 莉未（左沢）	3分05秒80
6年女子／鈴木 紗和（本郷東）	2分47秒92

◇400メートルリレー

男子／左沢小学校 6年生	1分04秒50
女子／左沢小学校 6年生	1分04秒29

4/24 反射材グッズで交通事故を防止

4月24日、東地区公民館で交通安全母の会の総会が開催されました。

交通安全母の会は町内の全世帯が会員になっており、街頭指導や高齢者世帯訪問、交通安全教室などの活動を通して、交通事故防止の啓発に努めています。

この日の総会の冒頭では、会長の林伸子さん（上北山）をはじめとする5名の理事が、夜間でも見えやすい反射材を用いた傘やタスキなどのグッズを、ファッションショー形式でわかりやすく紹介しました。





5/14 「つるり里芋」大きくなあれ

農協青年部大江支部の食育実施計画の一環として、5月14日、さくら保育園の年長組18名の園児たちが伏熊区内の農園で「つるり里芋」の定植作業をおこないました。「つるり里芋」は、柔らかくて甘みが多いのが特徴の品種です。この里芋の栽培をおこなっている橋本光弘さん（伏熊）による植え方の説明の後、園児たちは13名の農協青年部のみなさんと一緒に、苗の植え付けと水やりをおこないました。

10月には収穫作業をおこない、自分が植えた里芋で芋煮会をおこなう予定で、園児たちは里芋の成長を祈って「大きくなあれ」とおまじないをかけていました。

5/3 「フルーツみこし」で豊作祈願

下北山区にある熊野神社で、5月3日、例大祭がおこなわれました。下北山区・山崎区・下モ原区の子どもたち16人は、果物の形をした「フルーツみこし」を引っ張りながら3地区を練り歩き、豊作を祈願しました。

大型連休の真ただ中のこの日は、5月上旬とは思えないような暑さに見舞われましたが、子どもたちは汗をぬぐいながらも元気よくみこしを引っ張っていました。「フルーツみこしだ、ワッショイ、ワッショイ！」という威勢の良い声が響きわたり、にぎやかな活気に包まれた休日となりました。

毎年この時期には町内各地で豊作祈願の祭りがおこなわれ、農作業の始まりを告げる春の風物詩となっています。



5/17 快晴の空に快音響く

晴天に恵まれた5月17日、総合体育施設と左沢高校グラウンドで町民ソフトボール大会が開催されました。37回目となる今大会には、町内各地区から29チームが参加し、4つのブロックに分かれて優勝を争いました。各試合とも白熱した展開となり、ヒットやファインプレーが飛び出すたびに大きな歓声が沸き起こりました。

《ブロック優勝》

Aブロック／9区A Cブロック／市の沢
Bブロック／小漆川 Dブロック／藤田A



5/17 青芋づくりの第一歩

5月17日、藤田地区の青芋畑で「焼畑」の体験会がおこなわれました。「青芋を学ぼう」と題した企画の第1回目となる焼畑体験は、青芋復活夢見隊（代表：村上弘子さん・藤田）を講師として実施。焼畑をおこなうのは、害虫対策や青芋の成長を均一にするため、二十四節気のひとつ「小満の日」にあたる毎年5月20日前後におこなわれます。

一緒に作業した中学生は「こんなに広範囲に火を入れるものだとは思わなかったので、びっくりしました」と、初めての体験に驚いた様子でした。

早朝、それも5時半ごろ電話がなった。出ると切れてしまつて、「間違い電話」だ、と思つた。またも電話がなつた。出ると切れた。記録された相手先の電話番号は、見たこともないような数字が並んでいる。誰だろう、どこからか、こんな時間に……少々不気味だ。またも電話だ。明るい声が電話の向こうから聞こえてきた。地球の裏側、「ブラジル」からの電話であつた。

日本から、時の「世情」はともかくも、言葉も通じぬ世界のあらゆる国に、多くの日本人が出向いていつた。異国の中で人生を切り拓く闘魂は、まるで「人間の可能性の最高値」を見るような物語もあれば、極限の寒暖の過酷極まる自然環境に敗北せざるをえず、耳目をふさぎたくなるような事例もある。空間の如何を問わず、己の普遍化を計るために、その野望と大望にフロンティアをかき立てた引き金は何であつたのだろうか。

20年ほど前にブラジルの彼が故郷に帰つてきたときのこと、子供さんが立派に成長されて大活躍されていること、大江町のことなどで話題はつきなかつた。「最終的な人生の勝者」が、遠い異国のブラジルに暮らしておられて、故郷を、父を、母を思う、すてきな「心の電話」であつた。

「がんばれ、日本」

大江町長 渡邊 兵吾

左澤重要文化的景観

シリーズ企画 町の魅力発見！ vol.22

左沢13区内、かつて小漆川城のあつた高台の北側に位置するのが神明社です。江戸時代初期、元和10年（1624年）に小漆川城の北東に勧請されました。北東は陰陽道において「鬼門」と呼ばれ、鬼が入り出す方角と考えられていたため、神明社は城の鎮護を祈願したものとされています。

御免町通りを北に向かつて坂を上ると、鳥居へと続く階段があります。鳥居をくぐり、L字型に曲がった参道を進むと拝殿にたどり着きます。入母屋造屋根の載る拝殿は明治11年築とされていますが、比較的新しい形式であり、屋根や建具なども改装されています。

拝殿の奥には小規模ながら凝灰岩の基壇に載った本殿があり、その棟部は拝殿よりも高くなっています。建築様式は典型的な神明造で、左右には棟持柱を構えた伝統的工法が見られます。

現在は13区が担い手である小漆川奴が奉納されており、同区の集会などにも利用されています。

神明社



短歌

若き日の母の着物を解きほどき仕事着縫いし過ぎし日思ふ

佐竹磨砂湖

華やかな桜は散りて若芽吹き桜回廊静けさ戻る

菅井 妙子

待ちし雨漸く降れば足腰を伸ばし小さき葱苗植える

菊地つねよ

霞城の南門潜り学びし遠き日のお茶目な友よいまは何処へ

佐竹 麗子

水田は鏡の如く雲映す夏の朝の職場への道

山家 重之

それぞれに山菜抱え足早にわが家と同じか今夜の宴

佐竹 與鼓

たらちねの母に縫りて泣きじやくり学校休みしひと日忘れず

齋藤 徳治

俳句

花あやめ育てし花を仏前に

菅井 妙子

春日浴び畑仕事に汗流す

鴨田富士夫

棚田夜やカエル寄せきて大合唱

阿部 一風

まさなる空押し上げる初夏の峰

今井 茂樹

教え子の集まる宵や風薫る

山家 重之

白牡丹うつらうつらのまた果つる

金子脩一郎

下り立ちて風を自在に青嵐

熊谷 勉

笹藪に腰まで入れて蕨摘む

舟山 三男

松の芯熱心に聴く苦学生

伊藤 啓泉

吟遊浪漫
ぎんゆうろまん

※このコーナーに掲載ご希望の方は、毎月20日(必着)まで役場総務課に作品をお寄せください。



菊地さんは高校卒業後、東京にある芸術大学の写真学科に進学し、写真技術を習得しました。大学卒業後はホテルでの写真撮影の仕事をしていましたが、昨年4月から故郷の大江町に戻り、実家である菊地写真館で働いています。

「お店でお客さんと実際に接するようになってから、写真の面白さをより実感するようになりました。大学でモデルさんを撮影するのはまったく違いますね」

小学生の頃はスポーツ少年団でサッカーに打ち込み、中学校では野球部、高校で再びサッカー部に所属していました。今でも時々フットサルをしたり、町のソフトボール大会に出場したりしています。

明治13年創業の菊地写真館は菊地さんで6代目を数え、15年後には150周年を迎えます。「いつまでも元気にお店で立ってられるように、一生懸命やっていきたいです」と、将来へ向けての理想を語ってくれました。

菊地 眞太郎さん
(25歳・9区)

写真の伝統を未来へ

地域おこし協力隊通信 No.12



大江町地域おこし協力隊になってはや2ヶ月。あっという間に山の緑も濃くなり、沢の音が心地いい季節になりました。

5月初旬、地域おこし協力隊になる以前から関わりのあった青苧を山の中から掘り起し、自分でも植えてみることにしました。もちろん私に農業の経験はありません。植えてから今日は雨が降るだろうか、明日は降るだろうか、今日は畑に行けないけど大丈夫だろうか、と雨が待ち遠しくなりました。

子どもの頃は、雨や草、土の匂いに敏感で、風の匂いの中に季節のうつり変わりを感じていたことを思い出します。町の方との会話では、空模様や畑、山などの変化が話題になることが多く、私も季節の便りに耳を澄ませるようになりました。

生長の早い青苧に急かされて、今は青苧畑に通うことが多いですが、町のたくさんの人との出会いに耳を澄ませて町で活動していければと思います。

地域おこし協力隊 高橋里奈



←青苧の葉っぱは摘み



↑青苧畑の焼畑

お知らせ

Information

県内河川一斉清掃の実施について

7月は「河川愛護重点運動期間」です。「きれいな川で住みよいふるさと運動」として県内河川一斉清掃がおこなわれます。みなさんのご協力をお願いします。

◆日時／7月5日(日)6時～

◆場所／最上川、月布川、小清川、大瀬川河川敷

※お問い合わせは、建設水道課管理係 ☎(62) 2116まで

山形県農作業事故防止啓発運動実施中です

さくらんぼに関する農作業事故防止強化期間（5月24日～7月10日）となっております。

①作業前の安全確認 環境整備をおこないましょう
②作業に適した服装で作業しましょう
③点検整備は必ずエンジンをとめてからおこないましょう
④作業は計画的に、休憩を取りましょう
⑤万が一に備え、労災保険や任意保険に加入しましょう

また、農繁期になると、トラクターなどに付いた泥が道路に落ち、車や歩行者の通行の妨げになったりスリップするなどして大きな事故につながることもあります。安全のため、泥は農地内で取り除くなどして、道路に落とさないようにしましょう。

農地中間管理事業による農地の借り手を募集します

公益財団法人やまがた農業支援センターでは、農地中間管理機構として、農用地等の借受希望者を募集します。

◆募集期間／平成27年6月15日(月)～平成28年3月10日(木)

◆取りまとめ日／

1回目・平成27年8月31日(月)
2回目・平成27年10月30日(金)
3回目・平成28年1月8日(金)
4回目・平成28年3月10日(木)

◆応募方法／農業委員会事務局にある申込用紙に記入の上、提出してください。申込用紙は、ホームページからもダウンロードできますのでご利用ください。

◆留意点／応募内容の一部が公表されます。詳しくは申込書をご覧くださいるか農業委員会事務局へお問い合わせください。

●募集区域／公益財団法人やまがた農業支援センターのホームページをご覧ください。か、農業委員会事務局 ☎(62) 2868までお問い合わせください。

中学校用教科書展示会

平成28年度より使用される中学校教科書の展示会が開催されますので、ぜひご覧ください。

◆期間／6月19日(金)～7月3日(金)

※日曜日は休館日になります。

◆時間／8時30分～17時

◆会場／旧本郷西小学校会議室1

※お問い合わせは、教育文化課学校教育係 ☎(62) 2270まで

「消防フェア」について

西村山広域行政事務組合消防本部では、小学生を対象に放水体験やロープ渡りの救助体験などのイベントを実施します。参加無料ですので、ご応募ください。

◆日時／7月19日(日)9時30分～11時

うつ病家族教室のご案内

村山保健所では、うつ病家族教室を開催します。うつ病のことや治療のこと、ご家族の関わり方など一緒に学んでみませんか？

◆日時／①7月15日(水) 講演「うつ病の理解と対応」
②8月5日(水) 講演「家族の関わり方」
③8月25日(火) 講演「家族が心を健康に保つために」

◆時間／14時～16時

◆場所／村山保健所（山形市十日町）

◆申込／各回1週間前までにお申し込みください。

※お申込み・お問い合わせは、村山保健所保健企画課精神保健・感染症対策室 精神保健福祉担当 ☎023(627)1184まで

30分（受付／9時～）

◆場所／西村山広域消防本部庁舎前訓練場（寒河江市西根）

◆対象者／西村山管内の小学生（3年生以上）約50名

◆申込受付／6月15日(月)～30日(火)※定員なり次第締切

※お問い合わせは、西村山広域行政事務組合消防本部、消防署 ☎(86) 2574まで

重度心身障害(児)者医療制度・ひとり親家庭等医療制度 をご存じですか

一定の障がいをお持ちの方や母子家庭・父子家庭などのひとり親家庭の方に、医療費の一部を助成しています。助成を受けるためには医療証の申請が必要ですので、現在医療証をお持ちでない方で下記要件に該当すると思われる方は、お問い合わせください。

※現在医療証をお持ちの方には、更新の案内を郵送していますので、ご確認ください。

※お問い合わせは、税務町民課国保医療係 ☎62-2291まで

	重度心身障害(児)者医療	ひとり親家庭等医療
制度の内容	医療費の自己負担が1割又は無料になります。(保険適用分のみ)	医療費の自己負担が無料になります。(保険適用分のみ)
対象者	①身体障害者手帳1・2級 ②精神障害保健福祉手帳1級 ③公的年金各法の障害等級1級相当 ④療育手帳A ⑤特別児童扶養手当1級 ①～⑤のいずれかに該当する方で、町民税所得割額が235,000円未満の方 ※ただし、16歳未満の扶養者がいる場合1人につき33万円、16歳以上19歳未満の扶養者がいる場合1人につき12万円を所得から控除した額で再計算した場合、町民税所得割額が235,000円未満になる方は対象になります。	①ひとり親家庭の母または父で、所得税非課税の方およびその方に扶養されている18歳以下の子ども(父母が就労などにより収入を得ていること) ②所得税非課税の方に療育されている両親のいない18歳以下の子ども ※ただし、16歳未満の扶養者がいる場合1人につき38万円、16歳以上19歳未満の扶養者がいる場合1人につき25万円を所得から控除した額で再計算した場合、所得税が非課税になる方は対象になります。 ※求職活動中の方や傷病又は家族の介護のために就労が困難な方も対象になります。
申請時の持ち物	・印鑑 ・保険証 ・対象となることが確認できる書類(身障者手帳等)	・印鑑 ・保険証 ・父母が就労していることが確認できるもの(保険証・就労証明書等)

山形県労働学院の開催について

労働問題に関する基礎知識の理解を深め、昨今の社会情勢や労働関係の法制度の改正などに対応していくための研修会です。

◆期日/7月28日(火)・29日(水)

◆場所/村山総合支庁(山形市)

◆対象者/企業の人事労務担当者、労働組合関係者など

◆参加料/無料

◆申込締切/7月10日(金)

※お申し込み・お問い合わせは、山形県商工労働観光部雇用対策課 ☎023(630)2389まで

中国語講座の受講生募集

寒河江西村山日中友好協会主催の中国語講座は、2クラス編成で受講生を募集しています。

◆期日/7月3日(金)~11月27日(金) ※お盆などを除く毎週金曜日・全20回を予定

◆時間/19時30分~21時

◆場所/寒河江市ハートフルセンター

◆内容/初歩クラス(初めて学ぶ方向け)、初級クラス(継続受講者向け)

◆受講料/5千円(別途テキスト代)

労働保険料の申告・納付について

労働保険料(労災保険と雇用保険)の申告・納付期限は、7月10日(金)です。忘れずに手続きをおこなってください。

※お問い合わせは、山形労働局労働保険徴収室 ☎023(624)8225まで

※お問い合わせは、寒河江西村山日中友好協会(事務局・山形新聞社寒河江支社内) ☎(86)4241まで



暑い。天気の様(？)が、カレンダーを2ヶ月ばかりすっ飛ばしているのではと疑ってしまいます。とはいえ、気象現象は元来複雑怪奇なもの。完璧に予測するのは不可能だと言われている。最近よく「異常」気象と言われますが、神様に「通常営業」はないのかもしれませんが、雨が降らないのは本当に困ります。皆さんがこの広報を手にするころには、恵みの雨が降っていることを祈ります。(伊藤智治)



富沢 菊地友子

リレー随想／ 《第96回》

今日の健康に感謝

毎朝5時過ぎに起きてトラックで、趣味で作っている9アールの家庭菜園に向かう。もう20日以上もまともに雨が降っていないから、畑は砂漠のような水分のない状況になっている。私は、この状況を「蒔いた野菜の種や、植えた野菜苗がかわいそう」という思いで毎日水かけをしている。人には「癖になるからやらない方がいい」と言われているが、結局暇にまかせて朝夕、「まともな雨がその内降るだろう」との思いで水をかけ続けている。こんなことが出来るのも、知人から中古の200リットルのタンクを買ったこと、豊富な井戸水

が有るから、そしてなんといっても健康だから出来ることなのであるが。現在満74歳で、間もなく後期高齢者の仲間入りとなるが、足腰も丈夫でいたって元気に過ごしているから畑も続けられている。この丈夫な体の源泉は、まずもって両親への感謝である。子どものころから小柄な私を丈夫に育てる為に心を砕いてくれたようである。特に、小学5・6年生の夏休みには3週間程度、身体を鍛えるために蔵王温泉街にあった「林間学校蔵王学園」に送り出してくれたりもした。この事は、小学生で3週間親元を離れ、県内各地からくる知らない子どもたちと集団生活を体験することを意味している。幸い左沢小学校からは10人くらいが参加していたので心強かつた想い出がある。林間学校の日課は、朝6時起床で、その後施設の清掃、ラジオ体操、どんぶり飯とたくあんでの朝食、そして休憩のあと勉強、運動広場での野球やソフトボール等のスポーツ、夕方にはたつぷりの温泉入浴で、決まった時間には消灯となるような規則正しい生活であった。その間、林間学校にふさわしい毎日の散策はもとより、蔵王山頂や龍山への登山が行われた、お互い助け合い、励まし合って頂上へ辿り着いた喜びは格別

であったようである。この体験で、団体生活の中からは協調心、規則正しい生活からは心身が鍛えられたようで、大きな病気もせず一日も休まず学校に通学できたことが今も私の誇りとなっている。若いころは卓球、野球をはじめ、スポーツは何でも好きであった。この事は林間学校での体験が基礎になっているのではと、時々考えることがある。私は、現在ラージボール卓球を楽しんでいる。ラージボールとは、ピンポン玉が普通のボールより少し大きくて軽く、そのため空気抵抗によりスピードが比較的遅い、初心者でも楽しめるように考えられたシニア層向けの卓球である。練習は、初心者からベテランまで入り乱れて、現在43名の仲間と楽しんでる。心身共に健康の源は足腰の鍛錬に始まり、得点をするために色々な作戦を考えるところ、脳の鍛錬にも役立つ。そして折に触れ、みんな酒を酌み交わすことにより交流が増し、健康が維持されているものと思っている。日頃運動不足を自覚している方は、私たちのサークルに参加いただき心身ともにリフレッシュしませんか？ 会員一同お待ちしております。 (4区 駒林義雄)

お誕生おめでとう

区名	氏名	性別	父母名
13区	大泉 翔聖	男	祐次・裕美

ご冥福を祈ります

9区	大泉 教	(77)
9区	鈴木 つねよ	(93)
9区	鈴木 まつ	(90)
9区	阿部 千代子	(78)
伏熊	佐竹 トミ	(88)
塩野	平 渡邊 健	(85)
富沢	小林 光雄	(93)
深沢	菊地 禮子	(86)
諏訪原	菊地 郁夫	(86)

9区	林 ふみの	(95)
小漆川	公平 幸一郎	(85)
藤田	逸見 若代	(96)
小漆川	増田 政子	(80)
9区	太田 秀穂	(73)
荻野	最上 淳子	(60)
貫見	松田 文江	(91)
9区	小林 いく子	(86)



人口と世帯(前月比)

町の人口	8,798人(-21)
男	4,345人(-8)
女	4,453人(-13)
世帯数	2,927戸(-11)

平成27年6月1日現在

戸籍の まど

4月21日～5月20日受付分